



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社ルネサンス

上場取引所 東

コード番号 2378 URL <http://www.s-renaissance.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 正昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員最高財務責任者 兼財務本部長 (氏名) 田中 俊和 TEL 03-5600-5312

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,322	5.2	1,645	20.0	1,549	3.6	875	3.8
25年3月期第3四半期	28,812	5.0	1,371	35.3	1,496	56.1	843	82.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	40.94	—
25年3月期第3四半期	39.43	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	28,400	10,838	38.2
25年3月期	27,042	10,176	37.6

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 10,838百万円 25年3月期 10,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,500	7.4	2,750	44.5	2,500	25.0	1,215	19.0	56.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	21,379,000 株	25年3月期	21,379,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	376 株	25年3月期	376 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	21,378,624 株	25年3月期3Q	21,378,708 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記情報）に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
【注記事項】	8
(四半期貸借対照表関係)	8
(四半期損益計算書関係)	8
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(株主資本等関係)	8
(持分法損益等)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和を背景に円安・株高基調に転じる等、全体としての景況感は改善されつつあります。一方で、円安進行による原材料価格の上昇や、平成26年4月に予定されている消費税増税による民間消費への影響の懸念もあり、なお先行き不透明な状況が続いております。

そのような中、フィットネス業界においては、前事業年度に引き続き利用者数や会員数が増加傾向で推移しております。また、政府の成長戦略のひとつである健康・医療分野において、「国民の健康寿命の延伸」が目標として掲げられたことは、国民一人ひとりの健康増進に対する意識の高揚に大きく寄与するものと期待しております。さらに、2020年のオリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定したことも当業界にとって明るいニュースとなりました。

当社におきましては、“より多くの方が効果を実感し、継続していただけるクラブづくり”を目指し、「運動の効果を感じていただくこと」、「クラブへの帰属意識を持っていただくこと」を重点に、会員とのコミュニケーションに取り組み、定着率の向上を目指しております。

その結果、当第3四半期会計期間末の既存クラブ（新規出店や閉店等を除く、同一条件での比較が可能なクラブ）の在籍会員数は、前年同期に比べ0.8%増となりました。また、全社の在籍会員数は、新規出店クラブの集客が順調に推移したこと等により、前年同期に比べ3.8%増となりました。

当第3四半期累計期間における施設の状況は、新規施設として、4月にルネサンス幕張（千葉市花見川区）、7月にリハビリセンター東逗子（神奈川県逗子市）、8月にルネサンス宮崎（宮崎県宮崎市）、ドゥミルネサンス池袋東口（東京都豊島区）、9月に元気ジム両国（東京都墨田区）、10月にドゥミルネサンス中野（東京都中野区）、元気ジムひばりヶ丘（東京都西東京市）、11月に元気ジム石神井公園（東京都練馬区）をオープンいたしました。また、12月より、たくまシーマックス（香川県三豊市）の業務受託運営を開始いたしました。その結果、当第3四半期会計期間末の施設数は、直営107クラブ、業務受託7クラブ、通所介護6施設の計120施設となりました。

既存クラブの改装及び設備更新は、5月にルネサンス稲毛（千葉市稲毛区）、ルネサンス石神井公園（東京都練馬区）、6月にルネサンス両国（東京都墨田区）、8月にルネサンス・アルザ泉大津（大阪府泉大津市）、ルネサンス福岡西新（福岡市早良区）、ルネサンス福山春日（広島県福山市）、ルネサンス新所沢（埼玉県所沢市）、ルネサンス浦安（千葉県浦安市）、ルネサンス大分（大分県大分市）、9月にルネサンス小倉（北九州市小倉北区）、ルネサンス西国分寺（東京都国分寺市）、11月にルネサンス札幌平岸（札幌市豊平区）、12月にルネサンス港南中央（横浜市港南区）、ルネサンスひばりヶ丘（東京都西東京市）において実施し、施設環境の整備と魅力向上に努めております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は303億22百万円となり、前年同期に比べ5.2%増となりました。営業利益は16億45百万円（前年同期比20.0%増）、経常利益は15億49百万円（同3.6%増）、四半期純利益は8億75百万円（同3.8%増）となりました。

また、当事業年度におきましても、中期経営計画の達成に向けて、新たな事業領域の創出につながる活動や、在籍会員の帰属意識向上につながるプログラム開発やイベント等の実施に取り組んでおります。当第3四半期累計期間における主なトピックスは以下のとおりです。

- ・ 新たな事業領域、通所介護施設の出店加速

ヘルスケア事業拡大の取り組みの一環として、中期経営計画策定時には組み込んでいなかった、運動による機能改善に特化した通所介護リハビリ施設の出店を積極的に進めております。国家戦略に位置付けられた「国民の健康寿命の延伸」の実現に向け、要支援・要介護認定者の自立支援に取り組む施設の多店舗展開を加速させ、高齢化が進む地域の健康づくりに力を入れてまいります。

- ・ 脳を活性化するオリジナルメソッド「シナプソロジー」の普及に向けた取り組み

「シナプソロジー」を使ってアスリート（日本社会人アメリカンフットボールチームの選手）を対象に効果検証を行ったところ、「協調性やチームワークを高める」「活力、快感情、覚醒度を高める」「全身の反応性、脳の注意機能を高める」等の効果がみられ、「シナプソロジー」の実践により、アスリートの心理的競技能力や心理状態、身体・脳機能に良い影響があるとの結果が出ました。本結果を元に、アスリートを中心とした競技スポーツ界にも普及、浸透を図り、さらに「シナプソロジー」の可能性を上げてまいります。

- ・ 「ルネサンス スイムフェスティバル」の開催

10月に第16回目となる「ルネサンス スイムフェスティバル」（社団法人日本マスターズ水泳協会認定大会）を千葉県国際総合水泳場にて開催いたしました。本大会には、初心者から上級者まで、1,000名以上の幅広い年齢層の会員が参加されました。マスターズ日本新記録（1個）やルネサンス新記録（65個）、大会新記録（113個）が出るなど、日頃の成果が発揮され、成功裏に終了いたしました。

当社の報告セグメントは「スポーツクラブ運営事業」のみであるため、セグメントごとの業績については記載しておりません。以下では、より詳細な区分に分類し開示を行っております。

① 区分別売上高

当第3四半期累計期間における販売実績を各区分別に示すと、次のとおりであります。

区分	当第3四半期 累計期間(千円)	前年同四半期比(%)
フィットネス部門合計	16,558,333	+4.4
スイミングスクール	5,153,797	+7.2
テニススクール	2,631,428	+4.2
その他スクール	1,108,716	+3.4
スクール部門合計	8,893,942	+5.8
プロショップ部門	1,002,910	△17.8
その他の収入(注)2	3,285,551	+16.6
スポーツ施設売上高計	29,740,737	+5.1
業務受託	334,180	△4.6
その他売上	248,010	+49.7
売上高合計	30,322,928	+5.2

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 「その他の収入」は、スポーツクラブ施設に付帯する駐車場、プライベートロッカー等の収入であります。

② フィットネス部門及びスクール部門別会員数の状況

当第3四半期会計期間末におけるフィットネス部門及びスクール部門別会員数の状況を示すと、次のとおりであります。

部門	当第3四半期 会計期間末(名)	前年同四半期比(%)
フィットネス部門計	248,384	+2.8
スイミングスクール	94,288	+6.0
テニススクール	34,886	+4.9
その他スクール	16,392	+4.1
スクール部門計	145,566	+5.5
会員数合計	393,950	+3.8

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

イ. 資産

当第3四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ13億58百万円増加し、284億円となりました。これは主に、新規出店に伴いリース資産が増加したことにより有形固定資産合計が17億1百万円増加した一方、売掛金が減少したことにより流動資産合計が2億18百万円減少したこと、投資その他の資産が1億22百万円減少したことによるものです。

ロ. 負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ6億96百万円増加し、175億61百万円となりました。これは主に、新規出店に伴いリース債務が増加したことにより固定負債合計が8億35百万円増加した一方、未払法人税等が減少したことにより流動負債合計が1億39百万円減少したことによるものです。

ハ. 純資産

当第3四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末に比べ6億61百万円増加し、108億38百万円となりました。これは主に、四半期純利益8億75百万円を計上したこと、また前事業年度末配当金2億13百万円を支払ったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本資料の公開時点において、平成25年5月8日公表の通期業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	795,186	846,795
売掛金	765,073	638,388
商品	242,013	200,494
その他	1,590,119	1,487,385
貸倒引当金	△10,099	△9,608
流動資産合計	3,382,293	3,163,455
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,846,046	5,202,067
リース資産(純額)	4,656,681	5,879,649
その他(純額)	2,879,756	3,002,719
有形固定資産合計	12,382,484	14,084,435
無形固定資産		
	739,731	737,399
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,130,105	8,243,276
その他	2,407,542	2,171,760
投資その他の資産合計	10,537,647	10,415,037
固定資産合計	23,659,863	25,236,873
資産合計	27,042,156	28,400,329
負債の部		
流動負債		
支払手形	※ 196,705	※ 205,774
買掛金	86,767	75,931
短期借入金	600,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	2,133,000	1,857,000
未払法人税等	624,793	126,383
前受金	455,807	379,398
賞与引当金	577,282	339,624
資産除去債務	1,618	23,261
その他	※ 3,047,920	※ 3,577,199
流動負債合計	7,723,894	7,584,573
固定負債		
長期借入金	2,817,000	2,398,000
リース債務	4,582,890	5,785,650
退職給付引当金	363,599	400,453
資産除去債務	598,580	609,428
その他	779,735	783,813
固定負債合計	9,141,805	9,977,346
負債合計	16,865,700	17,561,920

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210,380	2,210,380
資本剰余金	2,756,974	2,756,974
利益剰余金	5,208,279	5,869,823
自己株式	△182	△182
株主資本合計	10,175,451	10,836,995
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,005	1,413
評価・換算差額等合計	1,005	1,413
純資産合計	10,176,456	10,838,409
負債純資産合計	27,042,156	28,400,329

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	28,812,916	30,322,928
売上原価	26,274,482	27,467,305
売上総利益	2,538,433	2,855,623
販売費及び一般管理費	1,167,180	1,209,942
営業利益	1,371,253	1,645,680
営業外収益		
受取利息	26,340	25,061
受取手数料	77,749	88,917
受取補償金	* 158,111	—
その他	50,096	33,254
営業外収益合計	312,299	147,233
営業外費用		
支払利息	170,191	213,240
その他	16,991	29,685
営業外費用合計	187,183	242,926
経常利益	1,496,368	1,549,988
特別利益		
固定資産売却益	1,061	—
特別利益合計	1,061	—
特別損失		
固定資産売却損	3,513	—
固定資産除却損	21,385	34,791
減損損失	15,525	—
その他	949	5,052
特別損失合計	41,374	39,843
税引前四半期純利益	1,456,056	1,510,145
法人税、住民税及び事業税	427,114	483,590
法人税等調整額	185,927	151,224
法人税等合計	613,041	634,814
四半期純利益	843,015	875,330

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

※ 四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
なお、当第3四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、四半期会計期間末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
支払手形	39,127千円	47,302千円
設備関係支払手形(流動負債その他)	90,452千円	300,649千円

(四半期損益計算書関係)

※ 受取補償金の内容

震災以降休業しているクラブにおける逸失利益等に対する東京電力(株)からの補償金であります。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	1,217,550千円	1,286,966千円
のれんの償却額	10,964千円	10,964千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月22日 取締役会	普通株式	149,651	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月22日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月24日 取締役会	普通株式	213,786	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している関連会社は、利益基準及び剰余金基準からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社の報告セグメントが「スポーツクラブ運営事業」のみであるため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	39.43円	40.94円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	843,015	875,330
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	843,015	875,330
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,378	21,378

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。